



かわはた



景色を見ながら食べるのも良いですね～♪



黙食実施



おかわりどうぞ～♪



10月11日・12日 屋上デッキにて芋煮会開催



< 目次 >

- 【 表誌 】 今年はやります！芋煮会・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 【 緩和ケアについて 】 内科部長 数田良宏・・・・・・・・P2
- 【 6か月間の研修を終えて 】 済生会横浜市東部病院 医師 水野将徳・・P3
- 【 第5回済生会川俣地域ケアセンター学会 】・・・・・・・・P4、5
- 【 栄養管理室 ～旬の食材を食べましょう！～ 】 管理栄養士 渡辺 恵・・P6
- 【 感染対策に関する啓発活動を実施 】・・・・・・・・P7
- 【 診療予定表 】・・・・・・・・・・・・・・・・P7

～緩和ケアについて～

内科部長 数田良宏

当院に入院されたことがある方はわかると思いますが、入院時に渡される入院診療計画書には、

「入院生活が安楽に過ごせるように援助します」

「苦痛の緩和に努めます」

などの文言が書いてあるかと思いますが。

健診や検査入院以外の場合には、入院する際に、何らかの苦痛や痛みを伴っていることが多いと思います。心臓疾患や細菌性肺炎など治癒可能な病気では、医療スタッフは適切な治療を行い、可能な限り入院前の状態にお戻しし、退院していただくようになります。

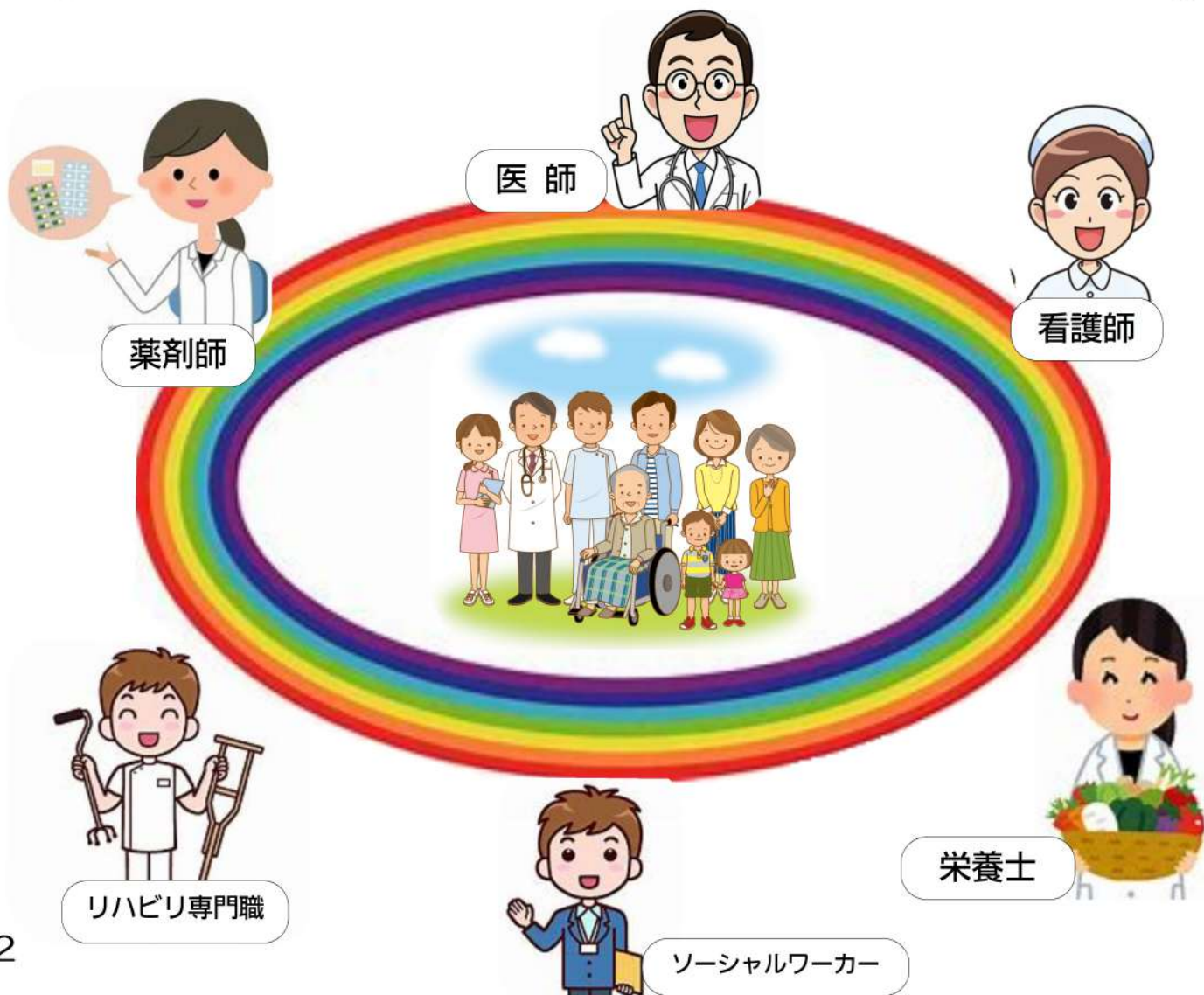
しかし、既にできる治療は終了し、それ以上治療しても効果が見込めない進行したがんなどの病態では、病気に対する治療をするだけでは苦痛の緩和は望めません。

緩和ケアは、そのような状態にある患者さんに対し、痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアル問題に的確な治療・処置を行うことによって苦しみを和らげることで、クオリティ・オブ・ライフ（生活の質）を改善する目的で行われます。1)

緩和ケア委員会では、医師、緩和ケア認定看護師、薬剤師、作業療法士、管理栄養士、主任介護支援専門員（ケアマネージャー）などが連携し、それぞれの専門性を生かして、一人一人の患者さんが、少しでも安楽に苦痛なく過ごせるように活動しています。

今後も、定期的に（隔月開催）に行われる緩和ケア委員会内でそれぞれの知見、経験を持ち合わせ、学習し、より良い緩和ケアができるように努めていきたいと思っています。

引用文献 1) WHO: Definition of Palliative Careより



横浜市東部病院 水野将徳先生 【 6か月間の研修を終えて 】

この度は半年間、私の研修を受け入れて下さり、誠にありがとうございました。これまで済生会横浜市東部病院を中心に2年間急性期医療を研修いたしました。急性期を過ぎた患者様がどのように地域に戻り、そして自宅での生活を送っていくのかを見る機会はありませんでした。このため、慢性期の患者様を、サポートするご家族も含めて包括的に支える医療を学ぶため、川俣病院で研修させていただきました。

川俣病院での研修で、内科の一般診療はもちろん、循環器内科の専門外来、皮膚科、泌尿器科、整形外科など多数の科を研修でき、また腹部エコー、白癬の染色検査などの技術もご指導いただき、総合診療科医として一回り大きく成長することができました。さらに、済生会川俣地域ケアセンターの中で、介護老人保健施設、診療所での医療など、これまで横浜の高次医療機関では触れることができなかったものを存分に研修できました。

また、訪問診療を通して、川俣町の患者様にも多くを教えていただきました。川俣町の高齢者の方は皆様とてもお元気で力強く、福島の大自然からエネルギーをもらっているように感じました。病院スタッフも一人一人の患者様のことをとてもよく把握しており、何気ない会話で交わされる福島弁を聞いているだけで、私は自然と気持ちが安らいでいきました。

私生活面でも、病院スタッフの皆様に福島県の観光名所、温泉、フルーツ、日本酒など様々な魅力を教えていただき、充実した日々を過ごすことができました。家族と福島県を旅行できたことはとてもよい思い出となりました。

今後私は横浜市の地域医療に従事することとなりますが、川俣病院での経験を活かし、ますます精進していきたいと思っております。半年間、ありがとうございました。



離任式



訪問診療



R4. 10月芋煮会



R4. 8月褥瘡ラウンド風景

研修お疲れさまでした。

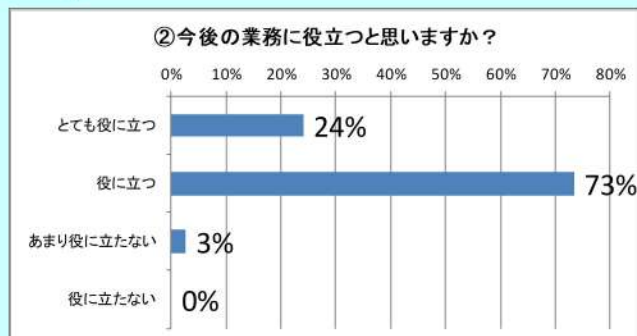
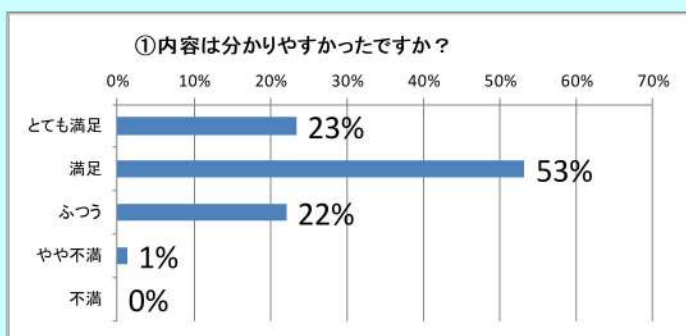
第5回済生会川俣地域ケアセンター学会

令和4年10月9日(土)に第5回済生会川俣地域ケアセンター学会を開催しました。発表は、医療・介護・福祉から9名のエントリーがあり、今回も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、開催しました。

他施設、事業所の専門知識や業務内容を把握・連携を強化し、医療と介護、福祉の質の向上を図ることが目的で、看取りや緩和ケアに着目した内容が見受けられました。

発表終了後に実施したアンケートでは、約7割以上の職員が満足、約9割以上の職員が業務に役立つと回答しました。

今回の取り組みを通して、多職種連携をより一層深める機会になりました。今後も定期的に開催し、川俣地域ケアセンターの医療の質の向上を目指して行きます。



【演題一覧】

- (1) 買い物を通して利用者を元気に！
介護老人保健施設めぐみ 理学療法士 押切 貴志
- (2) 「特定行為看護師が関わることで食事を開始することが出来た事例
～他職種連携と特定行為看護師の活用～」
川俣病院 看護師 菅野 藤智
- (3) 看取りケア～看取りに対する意識調査から見たもの
特別養護老人ホームはなづか 看護師長心得 菅野まゆみ
- (4) 脳挫傷後の寝たきり状態の患者に対するQOL向上に向けた離床への働きかけ
川俣病院 看護師 齋藤 和子
- (5) 「病棟看護師の退院後訪問の経験～アンケート調査から～」 川俣病院 准看護師 杉原 沙織
- (6) 医療と介護の連携の必要性について～地域包括ケアシステム（済生会タウン構想）～
特別養護老人ホームはなづか 生活相談員 菅野 望未
- (7) 「院内クラスターにより新型コロナウイルス感染症患者の夜勤対応をすることになった
看護師と、残された人員で病棟を守った看護師の経験」
川俣病院 副看護部長兼師長 加藤 久美
- (8) 施設で集団感染等が発生した際の事務職の役割とは
川俣光風園 主事 武藤 卓
- (9) コロナ禍で特例の付き添いが許可された終末期がん患者の妻の予期悲嘆
～一般病棟における予期悲嘆の援助～
川俣病院 緩和ケア認定看護師 菅野ひとみ

「発表を終えて・・・」



介護老人保健施設めぐみ
理学療法士 押切貴志

トップバッターとしての発表でとても緊張しましたが、多くの方に地域課題に対して新しく実施した施設での取り組みを知っていただくことが出来て良かったです。



川俣病院 看護師 菅野藤智

看護師特定行為についての周知が行え、看護ケアを考察することで、これからの展望と課題を明らかにすることができまし

た。様々な研究発表の内容をふまえ今後の看護に活かして行きたいと思います。



特別養護老人ホームはなづか
看護師長心得 菅野まゆみ

今回の発表により施設全体で看取り連携の導入に向けた意識の統一ができ、多職種連携の重要性を改めて感じました。

今後もその人らしい生活支援へ努めてまいりますので、職員の皆様のご協力を宜しく申し上げます。



川俣病院 看護師 齋藤和子

私自身、看護研究を発表するのがとても久しぶりでしたが、4階病棟スタッフと協力してまとめることができ、とても達成感と学び

のある発表になりました。協力してくださったスタッフの皆様から感謝申し上げます。



川俣病院 准看護師 杉原沙織

訪問看護について学生時代の実習や教科書だけでの学びもあり、1度先輩看護師と共に実際に退院後訪問を経験し、これからの課題

や今後も続けるべき点などを導き出すことができました。私自身の学びにも繋がり、この学びを今後の看護力向上に活かしていきたいと思います。



特別養護老人ホームはなづか
生活相談員 菅野望未

皆さんに、日頃の相談員部会での話し合っている内容をどうお伝えできるか。何度も

振り返りを重ねることは自分にとって、とても良い機会となりました。今後も医療と介護の連携により地域で安心した生活が送れるよう努めていきたいと思いました。



川俣病院
副看護部長兼師長 加藤久美

今回の学会は、3階病棟から4演題発表することが出来ました。

みんなで毎日頑張っていることを研究にまとめることができて良かった

と思います。これからも、チーム一丸となって前進していきます。



川俣光風園 主事 武藤 卓

今回発表者となり、初めは不安と戸惑いの気持ちでした。しかし、同僚の方々のサポートもあって何とか資料等を作成し、発表できたことはとて

も良い経験となりました。



川俣病院
緩和ケア認定看護師 菅野ひとみ

一事例研究をとおして得た示唆を今後の看護に活かしていきたいと思



学会開催の為に、準備・協力いただきました関係者の方々、お疲れさまでした。

～旬の食材を食べましょう！～

栄養管理室

秋から冬に季節も変わりました。冬の献立に旬の食材を使った温かいメニューをご紹介します。



～栄養素について～

ぶり：不飽和脂肪酸のDHAやEPAによって、血中の悪玉コレステロールや肥満の原因となる中性脂肪が減少する

大根：ペクチンという水溶性の食物繊維が、便秘を防ぐ効果が期待できる

ゆず：豊富なビタミンCの効能により免疫力が向上し、風邪の予防と症状の改善が期待できる

りんご：カリウムが豊富。高血圧の予防効果が期待できる

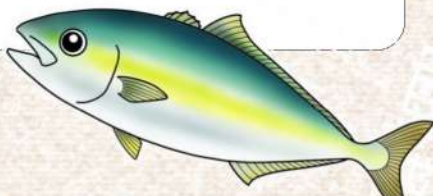
ブロッコリー：スルフォラファンが含まれる。優れた抗酸化作用があり、老化防止や美肌効果、がん予防にも効果が期待される

ぶり大根

【材料】

- ・ぶり 1切れ ・大根 4cm
- ・酒 50ml ・砂糖 大さじ2/1 ・だし汁 80ml
- ・生姜 ひとかけ ・しょうゆ 大さじ1
- ・みりん 大さじ2/1 ・カイワレ 少々

- ①ぶりを水で洗い流し、キッチンペーパーで水分をとり、酒をかけておく。
- ②大根を2cm幅に切り、皮を剥き、面取りをして、隠し包丁を入れる。
- ③鍋に大根がひたひたになるくらいの水を入れ20分下茹でをする。
- ④生姜はスライスする。
- ⑤鍋に湯を沸かし、ぶりを霜降りし、冷水にとる。
- ⑥鍋に酒、砂糖を入れ火にかけ、砂糖が溶けたら、ぶり、生姜、大根を入れ、落とし蓋をして弱めの中火で7～8分煮る。
- ⑦だし汁、みりん、醤油を加え、煮汁をかけながら3～5分煮詰める。
- ⑧器に盛り付け、カイワレを添える。



ゆずりんご



【材料】

- ・ゆず 1個 ・りんご 1個 ・砂糖 30g

- ①ゆずを良く洗ってピーラーで皮を引く。皮は千切りにする。
- ②ゆずは半分になり、ボウルに果汁を搾る。
- ③りんごはよく洗い、縦4等分にして芯と種を取る。さらに横半分にし、3mmほどの厚さにスライスする。
- ④ボウル全てのゆず、りんごを入れ、砂糖を加えて3時間ほど漬けておく。

ブロッコリーのかに玉あんかけ

【材料】

- ・ブロッコリー 100g ・水 100ml
- ・中華調味料 小さじ2/1 ・塩 少々
- ・カニカマ 1本 ・卵 1個 ・ごま油 少々

～水溶き片栗粉～

- ・片栗粉 大さじ2/1 ・水 小さじ1

- ①沸騰した湯でブロッコリーを2分ほど茹で、ザルに上げて水気を切り、器に盛る。
- ②鍋に水を入れて沸騰させ、中華調味料と塩とカニカマポコを加え、水溶き片栗粉を加えてとろみをつけたら、溶き卵を回し入れて火を入れる。
- ③ブロッコリーにあんをかける。





外来診療予定表

令和4年12月1日より

		受付時間	月	火	水	木	金	土	
内科	午前	一診	8:45~11:30	佐々木俊教	数田 良宏	佐々木俊教	大庭 敬	大庭 敬	大庭 敬 佐々木俊教 数田 良宏 (交代制)
		二診	8:45~11:30	角田理恵子	君島 弘子	渡辺 浩志	君島 弘子	第1・3・5 佐久間博史	佐久間博史 渡辺 浩志 (交代制)
		三診	8:45~11:30					福島医大 大平 弘正 (不定期 予約)	
		循環器	8:45~11:30		福島医大				済生会福島 山口 修 第2
	予約	第1	8:45~11:30						福島医大
		第2~5	8:45~11:30					福島医大	
		糖尿病 外来	8:45~11:30				済生会福島 本間美優樹 第1・3		
午後	一診	13:00~15:30	渡辺 浩志	福島医大	数田 良宏	佐久間博史	君島 弘子		
	予約	13:00~15:30					福島医大		
外科	午前	8:45~11:30		福島医大	芳賀 志郎		済生会福島		
	午後	13:00~16:00		福島医大					
整形外科	午前	8:45~11:00	福島医大		福島医大 第1・3・5			福島医大	
泌尿科	午後	13:00~16:00	山中 直人 診 察 14:30~				山中 直人 診 察 14:30~		
眼科	午前	8:45~10:30				福島医大 (予約)		福島医大 第4 (予約)	
	午後	13:00~15:00			福島医大 (予約)				
皮膚科	午後	13:00~15:30		福島医大 (予約)					

感染症対策に関する啓発活動を実施

地域の新規感染対策を目的に、済生会本部からの補助（ウィズコロナ・ポストコロナ臨時対策費）を受け、済生会川俣地域ケアセンターのロゴ入りアルコールスプレーを製作しました。

今後は、地域住民の方々や福祉施設等広く一般に配布することで、感染症対策に関する啓発活動を行っていきます。



やさしさといたわりのある医療

開かれた地域医療のための病院



済生会川俣地域ケアセンター



済生会川俣病院

電話：024-566-2323

ホームページ <http://www.kawamata.saiseikai.or.jp/>

済生会春日診療所	電話 024-566-2707
川俣町国民健康保険山木屋診療所（指定管理）	電話 024-563-2024
介護老人保健施設 めがみ	電話 024-566-2661
特別養護老人ホーム はなづか	電話 024-566-2661
養護老人ホーム 済生会川俣光風園	電話 024-566-3221
済生会川俣光風園訪問介護事業所	電話 024-538-0035
済生会川俣訪問看護ステーション	電話 024-566-2323
済生会かわまた居宅介護支援事業所	電話 024-566-2657
川俣地域包括支援センター	電話 024-538-2600
済生会川俣病院指定訪問リハビリテーション	電話 024-566-2323